

平成28年度第1回社会保険等システム検討委員会 議事録

(平成28年4月14日 12時00分～13時00分)

幕張メッセ国際会議場 1階 会議室103)

出席

理事 平泉 裕 委員長 青田 洋一

委員 伊藤 淳二、川口 善治、遠藤 健司、武者 芳朗、米澤 郁穂

(オブザーバー) 川上 紀明

欠席

豊根 知明、武富 栄二

討議事項

1) 外保連各委員からの委員会報告(青田;実務、遠藤;手術、武者;検査・処置)

実務委員会:今年度の診療報酬改正で、脊柱、骨盤項目で51項目中19項目が上昇しています。外保連試案2016との整合性による結果で、資料を提供していただいた当委員会のデータ(5施設50症例)によるものだと思います。診療報酬に対する人件費や償還不可材料費率が大きいもの人件費/診療報酬>200%の936件について外保連委員の全体交渉で改定されました。脊椎関連の整形外科領域では、骨粗鬆症性椎体骨折に関する地域連携パスに関する加算、硬膜外自家血注入療法が先進医療から新規に追加されました。

手術委員会:要望に関して全体での採用が25.7%、改正33.2%であったが、当委員会で要望した後弯矯正、歯突起骨折、分離修復、EOSは採用されませんでした。2年後に向けて、項目内容、エビデンスの蓄積などを検討する必要がある。

処置委員会:すでに試案掲載を経ずに承認された硬膜外自家血注入療法と、今後申請予定のC-ABC椎間板注入療法を今後、外保連試案に掲載申請するための資料を至急作成する予定となる。

2) 診療報酬改定のための要望項目の回収、選定について

アンケート回収率は14%であった。以下の意見などがでている。意見に対する回答をホームページに掲載する。

O-C2に関する新規術式、椎間加算の4椎間の制限撤廃、前方固定とLIFを分ける骨移植を伴わないスクリー固定、血腫除去、術後感染の洗浄に関する新規術式について、次回、委員会で前回要望を含めて優先順位を検討する、

3) 今後のデータ蓄積の展望について

可能であれば新技術評価検討委員会、安全医療推進委員会とデータの蓄積を共有作業として行っていくことを提案していく。

4) 今後のタイムスケジュールについて

次回会議は、5月12日(水)午前7時パシフィコ横浜会議センター5F513で開催
おもな議事は下記予定

平成30年度申請に向けた、要望項目と担当を決める、
データベースの構築に向けた合同委員会
処置委員会で脳脊髄液減少症に対する血液パッチ試案の試案を作成する。C-ABC
椎間板注入療法の試案作成は処置にするか手術にするかを含めて検討していく。

外保連委員会が6月にあり、新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼(簡単な内容記載)、試案未掲載項目の各種委員会提出・承認期間を行います。

現外保連委員は以下のとおりであるが、実務、手術を遠藤が、検査を青田が、処置・麻酔を平泉、武者を主軸として新メンバーを加えていく。

現外保連委員一覧

実務：米澤、青田、川口

手術：米澤、豊根、遠藤

検査：武者、武富、青田

処置：武者、伊藤

麻酔：遠藤、武富

平成30年度診療報酬改定に向けた社保委員会活動スケジュール(案)

平成28年

- 3月 脊椎脊髄病学会 評議員アンケート回収、不合理・矛盾点の意見募集、
- 4月 第1回脊椎脊髄病社保委員会開催予定(脊椎脊髄病学会)
(次回、要望の候補について検討、28年度結果の不合理矛盾点について)
- 5月12日 不合理・矛盾点の意見募集締切
- 5月19日 第1回実務委員会(不合理・矛盾点より緊急要望の検討)
(本年度要望書の元となる新設・改正・材料要望項目アンケートについて説明)
- 6月 緊急要望提出

新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼（簡単な内容記載）

試案未掲載項目の各種委員会提出・承認期間

1 2月 新設・改正・材料要望項目アンケートの締切（簡単な内容記載）
要望項目の調整作業（要望書記載学会の調整）

平成29年

3月 外保連・内保連から提出予定の要望項目の記載学会の調整

3月 第1回実務委員会

3月下旬 要望書記載学会への要望書作成依頼（=新設・改正・材料要望項目要望書のweb入力開始依頼）

4月下旬 新設・改正・材料要望項目要望書締切（=新設・改正・材料要望項目要望書のweb入力締切）

5月 外保連事務局による校正作業

6月上旬 外保連総会にて承認（3月総会の要望項目承認のみで開催しない場合もある）

6月中旬 厚生労働省へ要望書（製本なし）を持参し陳情に伺う

7月 （要望書として製本する場合は製本し、関係方面に配布）

8月～9月 厚生労働省によるヒアリング実施（未定）